

MINAMIDAITO AIRPORT

■空港の概況

南大東空港は、昭和9年9月旧日本軍により海軍飛行場として建設された。昭和38年6月滑走路等が整備され、昭和40年3月から民間航空による運航が開始された。昭和43年12月滑走路が1,200mに整備され、YS-11型機が就航した。

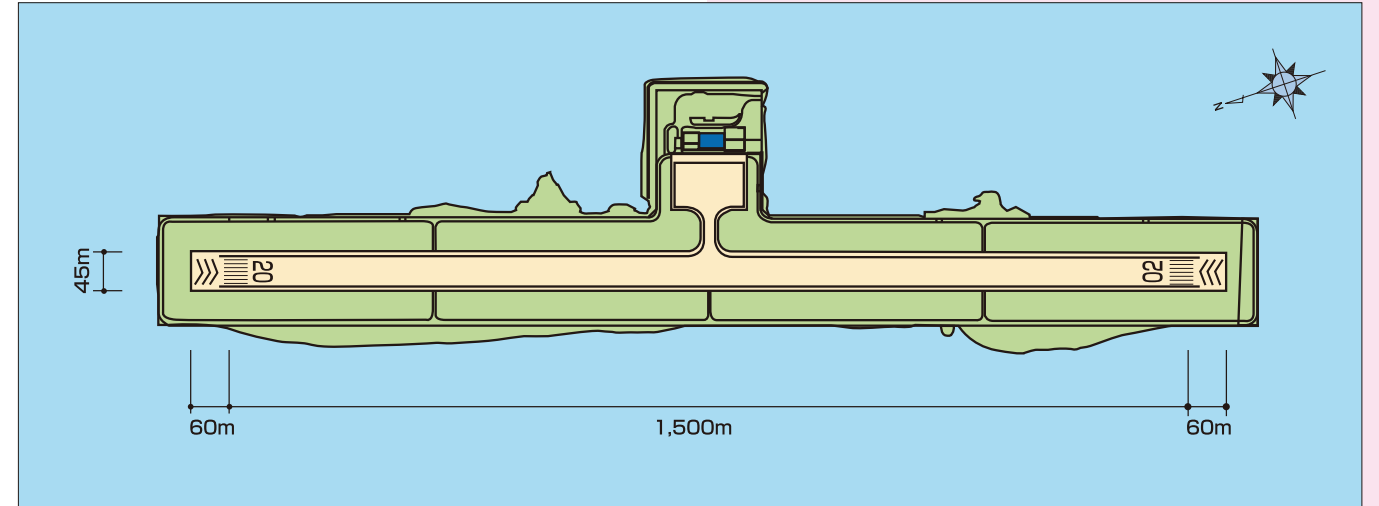
昭和47年本土復帰に伴い、国の航空法が適用されたことにより、進入表面が同法の規定に抵触したため滑走路の短縮運用となり、昭和49年8月滑走路800mで供用開始した。

当時、南大東一那覇間にDHC-6型機が就航していたが、悪天候や横風の影響を受けやすく欠航が多かった。そのため、機材の大型化に対応したプロペラ機が就航可能な滑走路1,500mを有する空港を島の東側に整備し、平成9年7月20日供用開始した。

■位置図



■平面図



▲ターミナルビル

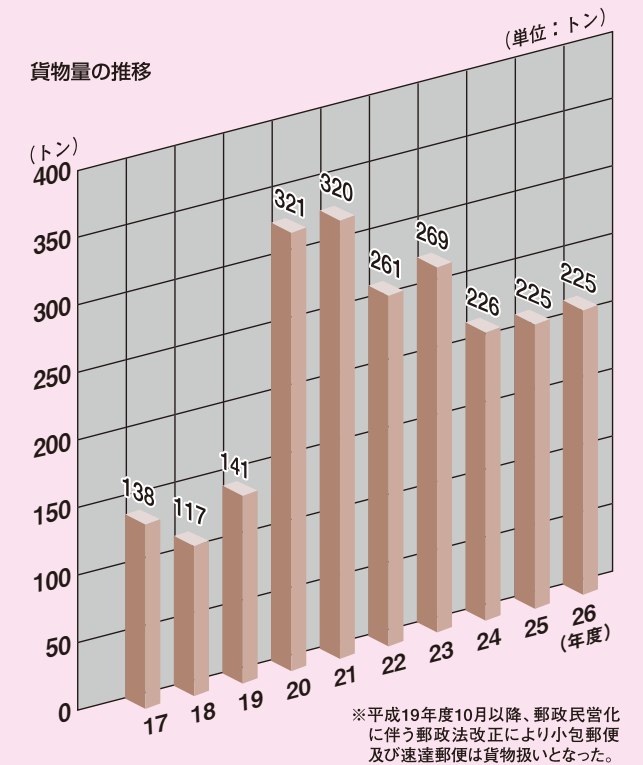
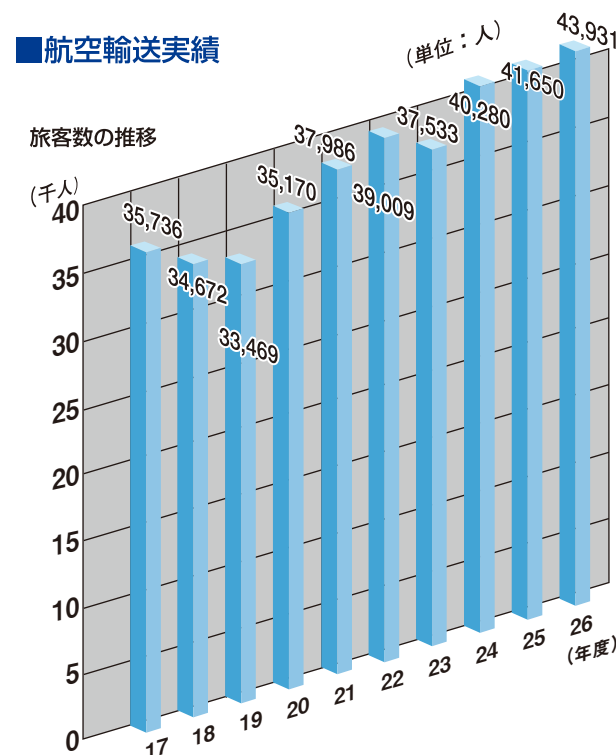
■沿革

- S. 9. 9 旧日本軍により海軍飛行場として建設
- S.40. 3 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示 (R/W1,232m)
- S.48. 1.25 南大東空港設置許可 (R/W800m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三種空港に政令指定
- S.49. 8.20 供用開始 (R/W800m)
- H. 3.11.20 新南大東空港設置許可 (R/W1,500m、設置者：沖縄県)
- H. 9. 7.20 南大東空港供用廃止
- H. 9. 7.20 新南大東空港供用開始 (R/W1,500m)
- H.10. 3.27 名称変更 (新南大東→南大東)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)

■空港諸元

項目	概要
種別	地方管理空港
設置管理者	沖縄県
所在地	島尻郡南大東村
標点位置	北緯25° 50' 48" 東経131° 15' 49"
標高	48.3m
空港面積	359,308㎡
着陸帯	1,620m×150m D級
滑走路	1,500m×45m LA-4 N15°39'14"E：真方位
誘導路	77.5m×18m
エプロン	7,700㎡ プロペラ機用 2バース
航空灯火	進入角指示灯、滑走路末端識別灯
航行援助施設	VOR/DME
駐車場	3,010㎡ 86台
Tビル面積	911.00㎡
運用時間	08：00～18：00 (10時間)

■航空輸送実績



■路線別就航状況

路線	航空会社	就航機種	日便数	所要時間
那覇	RAC	DHC-8	1 (3/週)	1時間15分
北大東	RAC	DHC-8	1 (3/週)	15分

(平成28年1月現在)

■市町村概況

行政区	人口 (人) (28.1.1現在)	世帯数 (世帯) (28.1.1現在)	面積 (km) (27.10.1現在)
南大東村	1,429	745	30.53